

赤い羽根ニュース 第2号

赤い羽根共同募金運動がはじまりました

運動期間 10月1日(火) から12月31日(火) まで

今年で67回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、全国一斉に開始されました。募金の使いみちをもっと分かりやすく、より身近に、多くの方に親しんでいたため、秋田県共同募金会では今年新たな取り組みを行いながら、運動を展開しています。どうぞ、皆様のご理解と御協力をお願いいたします。



◆空の第一便伝達式

秋田県庁、秋田市役所で、ANA全日本空輸様のご協力により運ばれてきた赤い羽根と、厚生労働大臣・中央共同募金会長からのメッセージが、秋田県知事・秋田市長・秋田県共同募金会長及び秋田市共同募金会長に伝達されました。その後、秋田駅前にて街頭募金を行いました。

◆赤い羽根オープニングイベント

10月5日(土)秋田市民交流プラザ きらめき広場にて実施。表彰・感謝状の伝達、助成内定団体からの募金お願いメッセージのあと、秋田駅周辺にて街頭募金を行いました。また併催行事として、「赤い羽根スイーツフェア」及び「赤い羽根ポスター展」を実施しました。



<主な内容>

- 赤い羽根共同募金運動が始まりました
- 秋田ノーザンハピネッツ様より「赤い羽根サポーター宣言」!!
- 赤い羽根は災害時の支援にも役立てられています

赤い羽根アルバム

～広域助成公開
プレゼンテーションを実施～



募金の使いみちをより明らかにするため、7月12日(金)にぎわい交流館(秋田市)で開催。秋田を良くする活動と助成の必要性について、熱い思いをお話しいただきました。

「赤い羽根あきた応援隊」(AAO) を結成!



ニャジロウ隊長と隊員の皆さん、本会正副会長(オープニングイベントにて)

「赤い羽根(A)あきた(A)応援隊(O)」に応募いただいた37名の学生の皆さんを、オープニングイベントで応援隊員に委嘱し、本会のサポートキャラクターであるご当地キャラ「ニャジロウ」を応援隊長に任命しました。隊長と隊員の皆さんは、今年度本会が実施する街頭募金等の活動に参加し、運動を盛り上げてくれています。

【発行】平成25年11月1日
【発行者】
社会福祉法人 秋田県共同募金会
〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
秋田県社会福祉会館 2F
TEL018-864-2821
FAX018-895-7513
<http://www.akaihane-akita.or.jp/>
内容の無断転載、転用は禁止します。

秋田ノーザンハピネッツ様より「赤い羽根サポーター宣言」！！

「赤い羽根共同募金運動」の運動推進にあたり、本会では今年度新規に「赤い羽根サポーター制度」を創設し、このたびサポーター第一号として秋田ノーザンハピネッツ様から「サポーター宣言」を行っていただきました！

宣言は9月16日(月) bjリーグ2013-2014プレシーズンゲーム 秋田ノーザンハピネッツ対横浜ビー・コルセアーズ戦で行われ、秋田プロバスケットボール株式会社 代表取締役社長である水野勇気様から、「秋田ノーザンハピネッツは、赤い羽根サポーターとして、2013-14シーズンの勝利募金の実施や、赤い羽根共同募金の活動をサポートしていくことをここに宣言します。」との宣言を頂きました。

これに対し、本会菅会長から、「スポーツと募金、方法は違うが『地域を元気にしたい』という思いは同じです。ハピネッツ様にお力を頂き、地域の皆様とともに募金運動をますます盛り上げていきたいと思います。」とお礼の言葉を申し上げ、チームマスコットのビッキーに見守られながら、固い握手を交わしました。

秋田ノーザンハピネッツは4年目のシーズンを迎え、10月からシーズン公式戦を開始。一勝1,000円の勝利募金を実施していただいているほか、今年度本県運動ポスターにもご協力頂いています。

「赤い羽根サポーター制度」は、「地域をよくするしくみ」である共同募金の趣旨を御理解いただき、地域とともに躍進する団体の皆様に社会貢献活動の一環として御協力頂く活動です。

今後も、様々な団体の皆様の御協力を頂きながら、募金運動を推進してまいります。



宣言を行う水野代表取締役社長（右手は菅会長）



平成25年度運動ポスター

赤い羽根は災害時の支援にも

役立てられています



重機を使って流れ込んだ土砂をかき出す



床上浸水した家は床板をはがし洗浄・消毒

今年8月9日に発生しました大雨により、大館市、鹿角市、仙北市において災害救助法が適用され、被災市社会福祉協議会のうち、大館市及び鹿角市において復旧のためのボランティア活動を支援する災害ボランティアセンターが設置されました。

本会では、各ボランティアセンターの運営を支援するため、これまで積み立てていた災害準備金を活用し、合計1,113,973円の助成を行いました。助成金は高圧洗浄機や掃除用ブラシ等洗浄に必要な備品や消耗品、トラックや移動用車両のリース料やガソリン代など、ボランティアセンター運営や活動費用に役立てられました。

赤い羽根共同募金では、災害時に被災地でのボランティア活動を支援するため、毎年募金の約3%を「災害準備金」として積み立て、緊急を要する災害時の迅速な支援に役立てています。

写真：ボランティア活動の様子<鹿角市災害ボランティアセンター>